

平成 29 年度 施政方針

『輝く緑 輝く瞳 輝く町もろやま』
の実現を目指して



毛呂山町長
井上 健次

昨

年は、リオデジャネイロオリンピック・パラリンピックの年でした。本町出身の瀬戸大也選手が競泳男子400メートル個人メドレーで銅メダルを獲得。町で立ち上げた『リオ五輪瀬戸大也選手支援会』には、1千人におよぶ個人会員の皆様と69の企業・団体会員の皆様のご協力をいただき、既存の『瀬戸選手を応援する会』と共にオールもろやまで応援できたことに、心から感謝を申し上げます。

また、出雲伊波比神社の流鏝馬が、ダイードーリンコ『日本の祭り』に選ばれ、全行程がテレビで紹介されました。

更に12月、毛呂山町学校給食センターが『第11回学校給食甲子園』に平成27年に続いて2年連続出場。町特産の桂木ゆずや地元野菜を使った献立で『子ども審査員特別賞』を獲得するという、素晴らしい結果となりました。

平成28年度を振り返ると、毛呂山町がテレビや新聞などに多

く取り上げられ、全国に町名が知れ渡った一年だったと思えます。

平

成29年度を動きのある一年とするため、新年度にあたり毛呂山町一般会計当初予算を93億3700万円とし、毛呂山町議会3月定例会において可決承認されました。

第5次毛呂山町総合振興計画で掲げた町の将来像「輝く緑 輝く瞳 輝く町もろやま」の実現のため、費用対効果の観点から緊急性・重要性などの優先順位に基づく事業を選択。自助・共助・公助の理念を踏まえた予算編成を行いました。

また、地方創生の観点から里山資本主義を柱に、特産品の柚子をはじめ自然豊かな毛呂山町の特色ある事業を盛り込みました。

平成29年度も、町民の皆様と共に「あなたと創る毛呂山町」の実現を目指し、町政運営を進めて参る所存です。ご指導とご協力をお願いいたします。

『第11回全国学校給食甲子園大会』（12月3・4日）出場の献立



※写真提供：全国学校給食甲子園®事務局



出雲伊波比神社の流鏝馬（11月3日）

リオ五輪男子競泳400m個人メドレー、200mバタフライのパバリックビューイング（8月7・10日）



平成29年度の 主な事業

子育てに関する事業

- ◇親と一緒に（三世代）子育て応援事業補助金開始
- ◇第3子出産祝金
- ◇幼少期における英語ふれあい事業
- ◇こども医療費



教育に関する事業

- ◇川角中学校体育館大規模改造工事
- ◇毛呂山中学校体育館改修工事（設計）
- ◇毛呂山中学校武道場吊り天井改修工事
- ◇川角中学校武道場吊り天井改修工事

土木に関する事業

- ◇川角駅周辺地区整備事業（概略設計）
- ◇農業用ため池緊急耐震化対策事業（鎌北湖）
- ◇林道の整備・保全事業
- ◇総合公園プール跡地利用検討事業
- ◇生活環境基盤整備事業



高齢者に関する事業

- ◇いきいき大学もろやま、ゆずっ子元気体操の拡充
- ◇埼玉医科大学および社会福祉法人埼玉医療福祉会と連携し、ワンストップ健康いきがいづくり事業を実施



保健に関する事業

- ◇保健センター内に、子育て世代包括支援センターを設置
- ◇インフルエンザ予防接種助成（中学校終了まで）
- ◇健康マイレージ事業を県費と併せて拡充
- ◇不妊治療費助成を県費と併せて拡充



行政改革などに関する事業

- ◇防災行政無線用受信機を各行政区の区長へ貸与
- ◇空き家改修事業補助金開始
- ◇町内の防犯灯を全てLED化
- ◇加工研修センターに加工室増築
- ◇10月から町内循環バスの第1・3土曜日運行開始
- ◇家庭用生ゴミ処理機器設置補助金を拡充

